

フォーミュラリとは

患者に対して、**有効性**、**安全性**、**経済性**などの観点から選択されるべき医薬品集および使用指針

「標準的な薬物治療の推進」

地域フォーミュラリの目的

- ◆ 真の目的は「標準的な薬物治療の推進」であり、それに伴う薬剤費の削減である。
- ◆ 地域医療において有効性(質)、安全性が担保され、ひいては経済性が優れている薬物治療の実施が重要！

地域フォーミュラを 策定する上での重要事項

- * EBMに則って行う
- * COIの遵守
- * 医師の処方権が侵害されるものではない

地域フォーミュラリ策定のメリット



八尾市地域フォーミュラリについて

八尾市地域フォーミュラリ委員会が作成した地域フォーミュラリは、医薬品の有効性・安全性・経済性等を勘案し、医師が医薬品の選定時に参考として用いる医薬品リストです。これに従うことを医師に強制するものではありません。最終的な処方判断は医師がおこなうもので、医師の処方権は侵しません。

2021年10月

八尾市地域フォーミュラリ委員会

八尾市フォーミュラリ委員会 委員名簿

八尾市薬剤師会	会長	中野 道雄
	副会長	豊口 雅子
	副会長	篠原 裕子
	副会長	森田 圭一
	理事	奥村 隆司
	監事	山村 万里子
	会員	勝山 千男
	会員	小西 滋子
	理事	南 雅子
	理事	田中 直也
	八尾市医師会	副会長
八尾市歯科医師会	副会長	松川 善和
八尾市立病院	薬剤部長	西岡 達也
	事務局長	小枝 伸行
八尾徳洲会総合病院	薬剤本部長	大里 恭章
	薬剤局長	草薙 みか
医真会八尾総合病院	薬剤科長	坂井 寿美

敬称略

八尾市薬剤師会 地域フォーミュラリ策定手順

2024.07

Step1

- ・ 地域フォーミュラリを検討する薬効群(疾患別)を提案する。
- ・ モデルフォーミュラリを参考に治療薬のフローシート(※1)と薬効群の比較表(※2)を作成する。

Step2

- ・ 提案した薬効群について、八尾市薬剤師会の会員薬局に使用量調査を行う。
- ・ 調査結果をもとに、運用による経済的効果等の資料を作成する。

Step3

- ・ Step1・2で作成した資料をもとに、地域フォーミュラリ原案を作成する。

Step4

- ・ 地域フォーミュラリ原案を、ヒアリングシート(※3)とともに、三師会に配布する。

Step5

- ・ ヒアリングシートをもとに地域フォーミュラリ原案を修正し、地域フォーミュラリ案を作成する。

Step6

- ・ 地域フォーミュラリ案を三師会に提出し、承認を得る。
- ・ 三師会で承認を得た地域フォーミュラリ案について、委員会に提出し、承認を得る。

Step7

- ・ 承認を得た地域フォーミュラリを三師会に周知し、運用を開始する。

(※1) フローシート：
疾患に対する薬剤選択
の流れをまとめたもの

(※2) 比較表：効能
効果、用法用量、相互
作用、薬物動態、薬価、
製剤の有用性などをま
とめたもの

(※3) 地域フォーミュ
ラリ ヒアリングシート

地域フォーミュラリヒアリングシート

問1、別紙(地域フォーミュラリ原案)を運用してもよろしいでしょうか？

- 運用可能
- 修正が必要→問2へ
- 運用不可→問3へ

問2、どのような修正が必要ですか？

問3、運用不可とした理由をご記入ください。

八尾市地域フォーミュラリ運用状況

2021年11月	抗インフルエンザ薬、PPI,P-CAB 初版
2022年 9月	PPI,P-CAB第2版、HMG-CoA還元酵素阻害薬
2023年 3月	PPI,P-CAB第3版、アンジオテンシンⅡ受容体拮抗薬
2023年 7月	アンジオテンシンⅡ受容体拮抗薬第2版
2024年 5月	第2世代抗ヒスタミン薬 初版
2024年 7月	歯科適応抗生剤 初版
2024年10月	ビスフォスフォネート製剤 初版
2025年 1月	尿酸生成抑制剤 初版